



平素より本プログラムをご支援頂き誠に有難うございます。
今年も4月から新学期が動き出しました。2022年度最初のニュースレターをお届けいたします。

祝・ご入学！東工大18期生_ 2022年 4月4日



東工大18期生として入学した皆さん、ご入学おめでとうございます！清華大学留学に向けて熱意满满です！！

2022年4月4日、大岡山キャンパスでは「令和4年度東京工業大学入学式」が執り行われました。今年は新入学生全員の式への出席が可能となったため、当日の大岡山キャンパスには久しぶりにたくさんの学生の皆さんの姿が見られました。キャンパス内数カ所に設置された『祝・御入学』の看板前には、式に参加できないご家族の方々と記念撮影する皆さんの長い行列が出来ていました。

本プログラムにも東工大18期生として今年新たに5名の皆さんが入学しました。各コース別に、ナノテクノロジーコース 野中菜々子さん、バイオコース 長谷川佳保さん、萩本紗理さん、浦上莉嘉さん、社会理工学コース 木山秀一さんです。

この日はあいにくの冷たい雨でしたが、18期生の皆さんには同期同士でお顔合わせをして頂くべく、入学式前にTaki Plaza 1階モニュメント前に集まってもらいました。

これまでオリエンテーションなどオンラインでは顔を合わせていましたが、リアルに会うのは今回が初めてだったので、皆さん同士「本当に会えたね！」と笑顔いっぱい早速おしゃべりに花が咲いていました。

事務室の私たちもコロナ禍の間、実際に学生の皆さんと会う機会が無かったため、18期生の皆さんが目の前で楽しそうに話している空間を共有できた事に、感慨一入でした。

そして、せっかく皆さんが勢ぞろいしたので、『祝・御入学』の看板前で記念撮影をしました。

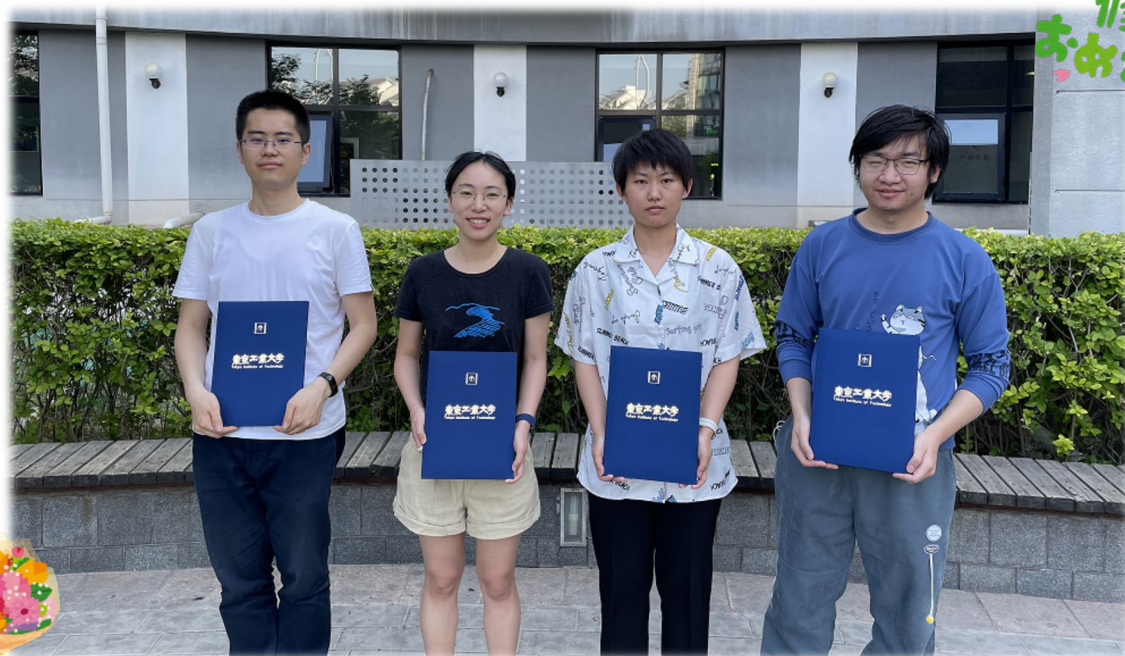


風雨が強くとても寒い中、記念撮影にご協力頂きありがとうございました！

東工大18期生の皆さん、ご入学おめでとうございます！これからの研究活動を応援しています！！



清華大学16期生の皆さんに東工大 修士課程学位記が届きました！



清華大16期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！

2022年3月に東工大を修了した清華大学16期生の皆さんの元に、東工大の学位記が届きました。北京オフィスの王亜民さんによると、清華大16期生の皆さんは東工大学位記を手にした際、とても喜んでいただけたとの事で、早速記念撮影に応じてくれたそうです。

清華大16期生の皆さんは2020年9月より来日予定でしたが、この年の初め頃から全世界的に猛威を振るったコロナウィルス感染症の影響で、日中両国間の渡航制限が厳しくなり、また両校の留学生の受入・派遣が共にストップしてしまいました。そのため彼等の日本への渡航の目途が立たず、東工大の研究室とはリモートで連絡を取りながら研究を続ける日々が続きました。しかしその後もコロナの変異株が次々と現れ、状況の改善が見られない中、東工大修了までの時間が迫っていました。そのため東工大・清華大双方の運営側の話し合いにより、清華大16期生に対しても、本プログラムにおけるコロナ禍の特別措置として、東工大の修論発表などの正規のプロセスを経た後、東工大に留学することなく修了する事となりました。

コロナ禍では、清華大生も東工大の授業をオンラインで受講し、実験についてもリモートでの対応となり、学生の皆さんには相当な苦労があったようです。

しかし学生の皆さん各々の努力に加えて、両校の教員との密なコミュニケーションや情報共有などのサポートを受けて、清華大16期生の皆さんは2022年3月に東工大修士課程を修了しました。そして東工大学位授与式から2か月が経過したこの日、やっと東工大学位記を手にした皆さんは、東工大を修了した事を実感した様子で大喜びだった、との報告をもらいました。

ナノテクノロジーコースの梁宇喆くん、賈科くん、社会理工学コースの張雯毓さん、丁安琪さん、ご卒業おめでとうございます！！

* 2022年6月初旬までの中国における新型コロナウイルス感染症の状況：

2022年中国では新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月28日から上海全体がロックダウンに入りました。当初は9日間の予定も、人口 2500万人の中国大の経済都市・上海市のロックダウンはその後2か月間続き、6月1日に全面解除となりました。その間、上海に拠点を置く多くの企業が操業停止に追い込まれ、また港や空港などを使った物流にも混乱が広がり、世界各国への部品の供給が滞る事態となりました。また北京市でも4月下旬以降、感染者が相次いで確認されたため、およそ1か月に渡り市内全域で行動制限などの対策がとられましたが、その後感染者が減少したとして6月6日に制限が解除されました。しかしその直後の6月6日、北京市の市内中心部でクラスターが発生したため、市当局が大規模なPCR検査を行うなど警戒を強めています。清華大学ではこの間、学生や教職員の敷地外への外出やキャンパス内の区域間の移動が制限されるなど、こちらも感染拡大に対して徹底的な対策が取られています。

出展：NHK News https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/world-situation/detail/china_57.html



清華プログラム コース説明会開催_5月19日 & 東工大_留学フェア参加_5月25日

清華プログラムでは今年度のコース説明会を5月19日にオンラインで実施しました。長引くコロナ禍の影響もあってか、参加学生の人数は少なめでしたが、当日は参加者の皆さんへ、ナノテクノロジーコース、バイオコース、社会理工学コース共に、各コース長の先生方よりコースの概要説明を行って頂きました。オンラインでは、参加者の皆さんはビデオ画面をオフにしたままで参加される方も多いため質問や相談がしやすかった印象で、皆さんからは様々な質問や具体的な相談が寄せられていました。



留学フェアでの清華合同プログラムの紹介スライド

また本プログラムでは、今年東工大が5月25日(水)に開催した留学フェアイベント - 「東工大から世界へ～東工大の留学プログラムを知ろう!～」 - に参加しました。

今年初めてオンライン開催となったこのイベントには、東工科大学内外より11の留学プログラムが参加しました。

進行方法として、Zoomでは各プログラム毎に11のブレイクアウトルームが用意され、イベントに参加した学生の皆さんは、自身が興味を持ったプログラムのブレイクアウトルームに入り、担当者から概要説明を聞くスタイルで行われました。



5/20開催 ～二刀流への道～



清華プログラムはこちらに参加!

◆2022 東工大留学フェア◆

<https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad/events>

清華プログラムでは、バイオコース長・蒲池先生、社会理工学コース長の猪原先生が同席した中、イベント前半は静かに参加者の訪問を待つ時間が流れました。

後半は本プログラムのブレイクアウトルームに数名の学生の訪問がありました。皆さんには事務側よりプログラムの概要を紹介し、その後はいくつかの質疑応答を行い、この日のイベントが終了しました。

2022年6月1日より、日本の入国制限が大幅緩和へ

日本政府の新型コロナウィルスの水際対策は、これまで観光目的を除く外国人の新規入国を再開しており国内外の感染状況や空港の検疫体制などを踏まえ、一日あたりの入国者数の上限を3月1日に5000人、14日に7000人、4月10日には1万人と、段階的に引き上げてきました。

そして6月1日から入国者数の上限を2万人に引き上げるとともに、入国者に対する検疫措置を緩和することになりました。

政府はこれまでの入国時の検査での陽性率などに応じて国・地域を「赤」・「黄」・「青」の3つに区し、それぞれ異なる措置をとることとしました。

さらに6月10日からは最もリスクが低いグループの国や地域について、添乗員付きのツアー客に限定し、およそ2年ぶりに外国人観光客の受け入れを再開しました。

中国は「青」となり、6月1日より中国本土から日本に入国する場合、ワクチン接種歴にかかわらず、日本入国後の検査や待機は不要になります。ただし、出国前72時間以内のPCR検査（陰性証明書）は引き続き必要で、また「ファストトラック」の利用による円滑な検疫手続きのため、入国前にアプリ「MySOS」・Visit Japan のインストールは必須。

入国者への検疫措置 緩和			
	ワクチン接種	入国時検査	待機措置
98か国・地域 米・英・中国・韓国など	接種の有無問わず	免除	免除
99か国・地域 インド・ベトナム・トルコなど	3回目接種	免除	免除
4か国 アルバニア・シエラレオネ・パキスタン・フィジー	3回目接種	あり	あり
	接種せず	あり	あり

2022年6月1日からの入国者への検疫措置



清華大学のプログラム生、来日が決定！

2022年3月、日本政府より外国人留学生の新規入国の緩和措置が発表され、それにもない文科省からは「留学生円滑入国スキーム」が発表されて、これまで日本に入国出来ていなかった15万人の外国人留学生の受入体制が加速していきました。

東工大でも既に在留資格認定証明書が交付されていた正規留学生から入国手続きを進める体制が取られ、政府が定める受入機関の準備対応事項に沿って、手続きを進めていました。

本プログラムの清華大生で、渡日できるようになった際には一刻も早く日本に行きたいと言っていた17期生2名の学生は、日本政府の水際対策が一段と緩和された6月に入り、早速日本へのフライトの予約を完了しました。

その詳細がアミンさんより知らされた際、2年ぶりにやっと清華大生の皆さんを迎えられるという明るいニュースに、関係教職員一同、大変に嬉しく明るい気持ちになりました。

またこのニュースを東工大生の本プログラム生にも共有したところ、東工大生からは清華大生の来日後の交流の機会を楽しみにしている、との連絡をもらっています。

9月には、清華大17期生2名と、18期生8名が続いて来日予定です。

東工大プログラム生、教職員一同、清華大プログラム生の皆さんにお会いできる日を、とても楽しみにしています！



■ 編集後記 ■

コロナ禍が始まった2020年4月30日より、新型コロナウイルス感染症に対する校内への入校制限措置とし立入が規制されていた大岡山キャンパス内各所について、5月9日を持って約2年ぶりに規制が解除されました。キャンパスの至るところに貼られていた「立入禁止」の表示や、黄色いロープが張られていたベンチ、規制と共に歩行経路を誘導する赤いコーンは、この日の朝から撤収作業が始まり、お昼休みには規制線のない景色が広がりました。

この日、朝方の小雨で足元が少し湿ったウッドデッキは学生の姿もまばらでしたが、桜並木にはこれまで長い期間通り抜けが出来なかったためか、周りを気にしながら恐る恐る通る学生がいたり、戸惑う様子が見られました。

それでも翌日には芝生にグループで座り込んで話をする学生達もいて、やっと大学のキャンパスらしい景色が戻ってきました！

この日以降、大岡山キャンパスのウッドデッキ周辺は「学生の昼食場所の確保」として開放しています。

2年間、長かったですね。



規制線が張られていたころのウッドデッキ周辺



規制線解除後は、学生が木陰で談笑する姿が戻ってきました